

# 光中仮設校舎全焼

## 20日から授業再開



焼け落ちた仮設校舎

九月十七日の未明、光中学校仮設校舎から出火し、職員室、普通教室十四、配膳室、便所等併せて千七百八十二平方メートルの同校舎一棟を全焼しました。

この校舎は、本校舎が三月からはじまった航空機騒音の防音改造工事期間中の仮設校舎として使用されていたもので、プレハブのため火のまわりが早く全焼を免れませんでした。

町は、この事態に対して緊急の教育委員会、議会全員協議会を招集し、馬場町長、松沢光中校長が陳謝すると共に、対策を協議し、直ちに応急校舎を仮設し、授業に支障のない措置をとることに決めました。

応急校舎は、地元業者等の協力を得て、三日間で中学校体育館、町体育館等を内部改造を行う一方、机、椅子等の備品を調達して、二十日から分散校舎による平常授業に入りいまでは生徒も平生に勉学に励んでいます。

また、一日も早く生徒が到着

いた環境で勉強ができるように、本校舎の工事を一ヶ月繰り上げて、十月いっぱいには完成できるように、請負業者をはじめ関係機関に要請をして、工事は現在

急ピッチに進行しています。なお、この火災で有線放送の幹線ケーブルが焼失し、一週間不通となりました。

### 台風18号のつめあと……… 被害個所を視察する町長



篠本地先



水稻の倒伏



篠本地先



日吉地区のネギ畑